

# DMO NAGASAKI REPORT

---



2026 年 4 月

---



一般社団法人 長崎国際観光コンベンション協会  
*Nagasaki International Tourism and Convention Association*

# はじめに

## 隔月にて、事業レポートをお届けします

DMO NAGASAKI は、1954 年（昭和 29 年）に長崎市観光協会が発足して以来地域のみなさまと共に、長崎市の観光を推進してまいりました。2012 年 4 月には（一社）長崎国際観光コンベンション協会として新たな体制に移行し、2018 年には地域 DMO として登録、2025 年には先駆的 DMO に選定されました。

このような中、DMO NAGASAKI がどのような取組みを行っているのか、皆さまに分かりやすくお伝えしていただくことを目的に、隔月にて事業レポートを発行いたします。

本年、長崎市はニューヨーク・タイムズ紙の「2026 年に行くべき 52 カ所」に選出されました。これにより、令和 8 年度は例年以上に多くの観光客の来訪が期待されます。DMO NAGASAKI では、長崎市の魅力発信に加え、インバウンド誘客に向けた受入体制の整備にも取り組んでまいります。

また、「2026 年に行くべき 52 カ所」を推薦したクレイグ・モド氏と鈴木長崎市長の対談を受け、NIB にて特集が放送されました。その中で、長崎市のインバウンド受入体制に関する当協会の取組みが紹介されました。動画開始から約 5 分頃よりご覧いただけます。  
<https://news.ntv.co.jp/n/nib/category/society/niabb9e4f79bc14930808050ef7d86945e>



# 目次

- ・ 2026-2030 DMO NAGASAKI 観光地経営戦略
- ・ 長崎さるく 20 周年記念事業
- ・ インバウンド誘客プロモーション
- ・ 平和・歴史ガイド全体会議・研修報告
- ・ さいごに

# 2026-2030 DMO NAGASAKI 観光地経営戦略<企画課>

## 計 7 回の長崎市 DMO 推進検討委員会等での議論を経て策定

長崎市の「第二次長崎市観光・MICE 戦略」と同じタイミングで、新たな5 年戦略「DMO NAGASAKI 観光地経営戦略」の策定を進めてまいりました。

DMO が果たすべき役割や達成目標、取り組むべき事業等を体系的に整理しています。また、新たな戦略の基本コンセプトとして、市民や市内事業者の皆さまと長崎市の魅力を共に育てていく考え方のもと、以下の通りまとめました。



今後は、世界的な情勢や国内の観光動向を注視しながら、長崎市観光・MICE を取り巻く市場の変化を的確に捉え、観光地経営戦略に基づく事業を効果的に実施することで、市民や市内事業者の皆さまとともに、「世界とつながる持続可能な交流都市 長崎」の実現に努めてまいります。DMO NAGASAKI 観光地経営戦略については近日公開予定です。

# 長崎さるく 20 周年記念事業<地域連携課>

## 長崎さるく 20 周年にむけたセミナーを開催しました

3月26日（木）、出島メッセ長崎にて、長崎さるく 20 周年に向けたセミナー「これからの観光まちづくり～地域創生～」を開催しました。

第一部では、Peace Education Lab 理事の鳥巢氏より、「問いかけて考えること」をコンセプトにした体験学習について約 30 分間ご講演いただきました。

第二部では、長崎さるくの立ち上げ当初から関わってこられた前長崎市長の田上氏をはじめ、まち歩き団体の代表である黒田氏、桐野氏を交え、長崎さるくのこれからの観光まちづくりについて約 1 時間にわたりディスカッションしました。黒田氏、桐野氏からは、長年ガイドとして活動されてきた立場から、どのようにまちや人が変わってきたのか、また現在抱える課題についても提議されていました。また、田上氏からは、長崎さるくを通じた観光まちづくりの大切さを、住む人、訪れる人、地域の事業者の皆さまそれぞれにとってより良い地域をつくっていくことの重要性についてお話しいただきました。

セミナー後のアンケートでは参加者の満足度が高く、「長崎の魅力が改めて実感できた」「さるくの歴史と未来を感じることができた」などの感想が寄せられました。セミナーはオンラインとのハイブリッド開催で、110 名の参加者でした。このセミナーの録画については、近日公開予定です。



# インバウンド誘客プロモーション<事業推進課>

## ニューヨーク・タイムズ紙 掲載への対応

ニューヨーク・タイムズ誌「2026年行くべき52カ所」に長崎が取り上げられた直後のプロモーションとして日本在住外国人や訪日関心層に強い影響力を持つメディア「TOKYO WEEKENDER」を活用した情報発信を行いました。

今回の掲載では、被爆の悲劇を乗り越えた歴史的遺産と、独自の和洋折衷文化が息づく街の魅力に加え、平和公園やグラバー園といった名所から、ちゃんぽんなどの伝統的な食文化まで、過去を語り継ぎながら進化を続ける長崎の多面的な美しさを掘り下げた内容としました。

### ■WEB サイトタイアップ記事 (2/20 公開)

記事からの離脱率 15.4%と低く、単なる

観光紹介を超えた、タイムリーなガイドとして機能したと考えられます。

<https://www.tokyoweekender.com/tw-collabs/why-nagasaki-belongs-on-your-japan-travel-list/>



#### Why Nagasaki Belongs on Your Japan Travel List

The New York Times recently picked Nagasaki as one of the 52 Places to Go in 2026 — here's why you should, too.

SPONSORED POST

### ■ニュースレター配信 (2/26)

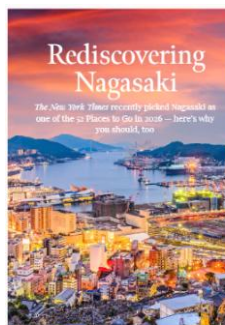
### ■雑誌誌面タイアップ記事掲載 (3/27)

2026年第1号「Spring Edition (春特集)」に

おいて、2万人の在住外国人読者に対し、

「長崎市の魅力を再発見」をテーマとした

1ページを掲載しました。



Words by Eugene Shen

Nagasaki is unlike any other place on earth. Wrapped around a limestone harbor and carved into green hillsides, it's defined by winding streets, walkable neighborhoods and a reality of architectural and cultural gems. But many people know the city for another reason: It is one of only two places in the world to have experienced an atomic bombing.

It's for both of these reasons — Nagasaki's creative history and its history shaped by nuclear catastrophe — that it earned a place on The New York Times' "52 Places to Go in 2026" list. It's a city that has overcome immense tragedy, while honoring what was lost. Yet it also, quite simply, is a deeply rewarding destination in its own right.

**Honoring History**  
The heart of the city is anchored by the Nagasaki Atomic Bomb Museum and the nearby Peace Park — landmarks that are essential for understanding the weight of the past.

#### Architecture and Views

Wandering through the historic Minami Yamate district, you'll find numerous, intricately designed buildings that hug the slopes. This area was once the heart of the city's 19th-century foreign settlement. Architecturally, it's a treasure trove: Japanese carpenters built Western-style homes, resulting in a unique, fused aesthetic. To see more of these residences up close, stop by Christ Garden. Even in the summer in full, head to the summit of Mount Inasa. You can take a ropeway to the top for a panoramic outlook among the world's three most spectacular night views.

#### Local Flavors

Nagasaki has been an international melting pot for centuries, and its culture serves as proof of that fact. Try the mouth-dropping yakitori, which has been hand-making to famous cattle cake since 1624. The city's dining scene is also famously shaped by its historic Chinatown, the oldest in Japan, where you can sample local delicacies like chawanmushi.

#### More Info

To learn more about Nagasaki, visit <https://www.nagasaki-nippon.com/en/> or contact the Nagasaki International Tourism and Convention Association, 2F Daimyo Wharf, 1-1 Daimyo, Nagasaki city, 850-0862 | 090-812-8121



- 左：表紙
- 右：掲載ページ

# 平和・歴史ガイド全体会議・研修報告<営業課>

## 第2回ながさき平和・歴史ガイド全体会議・研修を実施

3月10日（火）、歴史文化博物館 大ホールにて平和・歴史ガイド74名の皆さまにご参加いただき、第2回全体会議および研修セミナーを実施しました。第一部では、個人情報取り扱いに関するDMOの取組みの紹介に加え、令和7年度の実績報告や各班の活動報告、そして最後に事務局からの報告として新任スタッフの紹介を行いました。

また、3月31日付で13名の方が退会されることに伴い、長年のご貢献に対し鈴木長崎市長より感謝状が贈呈されました。当日は退会予定者のうち3名が出席され、市長より直接感謝状が手渡されました。

第二部の研修セミナーでは、日本航空チーフキャビンアテンダント・J JAL ビジネスサポートアドバイザーの西内恵理様を講師にお招きし、「おもてなしの心の実践セミナー」を開催しました。セミナーでは、修学旅行生への対応に役立つ所作や心配りについて、実践的かつ具体的にご講義いただきました。



第一部 全体会議の様子

第二部 「おもてなしの心の実践セミナー」の様子

# さいごに

## さいごに

DMO NAGASAKI では、事業の見える化の第一弾として、本誌を発行いたしました。今後も地域の皆さまと連携しながら、長崎市をさらに盛り上げる取組みを進めてまいります。

本誌についても、「こんな情報がほしい」「こういうことを知りたい」というようなご意見がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

---

## 本誌問合せ先

長崎国際観光コンベンション協会

企画管理本部 地域連携課 齋藤・兼田・徳永

Tel: 095-823-7423

E-mail: [region@nagasaki-visit.com](mailto:region@nagasaki-visit.com)

---